

山梨市公共施設マネジメント計画

令和3年3月

山梨市

はじめに

本市は現在、公共建築物を 249 施設保有しています。このうち、総延床面積の約 7 割が、高度経済成長期以降の急激な人口増加に対応するために整備され、それから約 30 年以上経過しています。また、公共建築物以外にも、道路や橋りょう、上下水道などのインフラ施設が同時期に集中して整備され、それらがいま、一斉に更新時期を迎え、対応を迫られています。



しかし、本市の今日の財政状況、今後予想される税収減、超少子高齢社会の急速な進展による社会保障費の増大、さらには、社会情勢の変化により、公共施設に対するニーズや需要も変わりつつあります。そのような状況下では、現在の用途・規模で全ての公共施設を維持・管理することは困難であり、また、この状況を放置すると、近い将来、必要なサービスの提供が維持できなくなるだけでなく、施設の安全で安心な利用にも支障が生じることが懸念されており、一刻も早い対応が求められています。

こうした背景を受けて、本市では、2017（平成 29）年に、インフラも含めた公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進するための指針である「公共施設等総合管理計画」を策定し、さらに、公共建築物について、本市の身の丈に合った公共施設の保有量や保有方法を実現しつつ、市民サービスの質も確保するための基本方針や目標、手続き等を示した「山梨市公共施設マネジメント計画」を策定しました。

公共施設の老朽化は「待ったなしの問題」です。本市としては、この問題に全力で取り組んでいくことは勿論のこと、公共施設の適正化を着実かつ円滑に進めていくためには、市民の皆様と「共に」進めていくことが必要であると考えております。

子どもたちや孫たちの世代に多くの負担を残さないためにも、市民の皆様には一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和 3 年 3 月

山梨市長 高木晴雄

- 目 次 -

【基本方針編】

第1章	公共施設マネジメント計画の概要.....	1
1.1	計画策定の背景と目的.....	1
1.1.1	計画の位置づけと概要.....	2
1.1.2	計画期間.....	3
1.1.3	対象施設.....	4
1.2	公共施設を取り巻く現状及び課題.....	5
1.2.1	市の概況.....	5
1.2.2	人口動態.....	6
1.2.3	市の財政状況.....	10
1.2.4	公共施設の現状.....	12
1.2.5	今後の課題.....	13
第2章	実施計画の概要.....	14
2.1	施設評価の実施.....	14
2.1.1	施設評価の進め方.....	14
2.1.2	施設評価結果.....	15
2.2	費用見込の試算.....	16
2.2.1	試算の考え方.....	16
2.2.2	試算結果.....	18
2.2.3	総量圧縮の重要性.....	20

2.3	削減目標値の設定	22
2.4	マネジメントの基本的な考え方	23
2.4.1	マネジメントの基本方針	23
2.4.2	3つの「適正化」に関する優先順位についての考え方	24
2.4.3	基本方針の具体的な内容	25
2.4.4	マネジメントを希望に	30
第3章	公共施設マネジメント計画の実施体制	31
3.1	推進体制・フォローアップ体制	31
3.1.1	推進体制	31
3.1.2	フォローアップ体制	32
3.2	計画の推進	33
3.2.1	市職員のマネジメント意識の醸成	33
3.2.2	市民との情報共有・合意形成の推進	34
3.2.3	計画の定期的な見直し	34

【実施方針編】

学校教育系施設（20施設70棟）	2
市民文化系施設（21施設23棟）	5
社会教育系施設（7施設13棟）	12
スポーツ・レクリエーション系施設（41施設60棟）	15
産業系施設（9施設16棟）	27
子育て支援施設（14施設19棟）	31
保健・福祉施設（5施設6棟）	34
医療施設（6施設6棟）	37
行政系施設（23施設39棟）	40
消防施設（61施設61棟）	45
住宅施設（31施設149棟）	46
公園施設（8施設42棟）	46
供給処理施設（3施設6棟）	47
